

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Catalase Microbial in Glycerol
製品番号 : 11668153103

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
住所 : 東京都港区芝2-6-1
1050014
電話番号 : 03-5443-5128
FAX番号 : 03-5443-5299
緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: カスタマーサポートセンタ
ー
0120-600-152

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。
担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門
クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体 : 区分 3
発がん性 : 区分 1A
生殖毒性 : 区分 1A
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 2（肝臓）

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H226 引火性液体及び蒸気。
H350 発がんのおそれ。

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日:-
初回作成日: 2016/05/23

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肝臓）の障害のおそれ

注意書き

:

安全対策:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地すること/アースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置:

- P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用すること。

保管:

- P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄:

- P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
エタノール	64-17-5	>= 1 - < 10	2-202

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすいでください。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 発がんのおそれ。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 付近の発火源となるものを取り除く。
安全な場所に避難する。
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。炎、熱および発火源から遠ざける。
- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

保管

安全な保管条件 : 禁煙。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
ラベルの予防措置を遵守する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
Ethanol	64-17-5	STEL	1,000 ppm	ACGIH

設備対策 : データなし

保護具

手の保護具

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 液体

色 : 褐色

臭い : 極めて僅か

臭いのしきい(閾)値 : データなし

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

pH	: 7 - 8
融点・凝固点	: データなし
沸点／沸点範囲	: データなし
引火点	: 44 ° C
蒸発速度	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重（密度）	: データなし
密度	: 1.04 g/cm ³
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度(粘性率)	
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
酸化特性	: この製品は、GHS 分類の酸化性には分類されない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。
避けるべき条件	: 熱、炎、火花。

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

エタノール:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 7,060 mg/kg

LD50 経口 (マウス): 3,450 mg/kg

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 20000 ppm
曝露時間: 10 h

LC50 (マウス): 39 g/m3
曝露時間: 4 h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

発がんのおそれ。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

長期にわたる, 又は反復ばく露により臓器（肝臓）の障害のおそれ

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考: 溶剤は皮膚を脱脂することがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

エタノール:

- 魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): 8,100 mg/l
曝露時間: 48 h
LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 7,100 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 非該当
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 5,400 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
GLP: 非該当
- 藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 5,000 mg/l
曝露時間: 7 d
- 細菌に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 6,500 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

エタノール:

- 生分解性 : 生分解: 97 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301D

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

生体蓄積性

成分:

エタノール:

n-オクタノール/水分係数 : 備考: データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には不適用。

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

15. 適用法令

関連法規

消防法

第4類, 第2石油類, 水溶性液体, (2000 リットル)

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	含有量 (%)
エタノール	61	>=1 - <10

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
エタノール	61

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

引火性の物

安全データシート

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日: -
初回作成日: 2016/05/23

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

DSL : この製品の全成分は、カナダ DSL リストに載っている

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに記載されているか、従っている

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

16. その他の情報

Catalase Microbial in Glycerol

版番号
1.0

作成改訂日:
2016/06/06

前回作成改訂日:-
初回作成日: 2016/05/23

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 1511